

2021 年度 青年技術士交流委員会 4 月運営会 議事録

主題：2021 年度 青年技術士交流委員会 4 月運営会

日時：2021 年 4 月 10 日（土）13：00～17：30

場所：中国本部会議室&WEB（Teams）

参加者

中国本部：新淵、双和、中山、加藤、宮里、野田、久場、海原、小林（記） 9 名

WEB：岡野、山口、田中、近藤、（双和※） 4 名

※3 項ディスカッションのみ WEB チームに参加

【議題】

1. 委員長あいさつ、今期方針
2. 昨年度の活動報告
3. 青技交でやりたいこと決め
4. 例会のプロジェクト制について

（以下詳細）

1. 委員長あいさつ、今期方針（新淵）

「若い技術士および技術士を目指す人にとって、最高の自己実現の場を提供する」

これらのために、例会をプロジェクト制にし、個々のやりたいことを随時引き出すことで、メンバーの交流の場と、挑戦が許される場づくりを進めていきます。

2. 昨年度の活動報告（新淵）

（ア）各チーム（例会、社会貢献、新企画・若手 CPD、国際、広報）の活動

（イ）他地域本部との交流（おこすた&火渡り）

（ウ）コロナ禍がもたらしてくれたこと

3. 青技交でやりたいこと決め

（ア）会議室／WEB の 2 チームに分かれてディスカッションを実施した

（イ）ディスカッション内容の発表（赤字が決定事項）

- ① 会議室チームの案

【目的】

① 会員の共有の場を設ける

② 「×技術」を用いた実学の場を提供する

1. 技術士×インスタ

（ア）技術写真※とマップを紐づけて会員で共有する仕組み（※技術写真：技術者がうなるマニアックな技術が使われているものを撮影）

- (イ) ツールとしては Instagram、Slack、FB+マッシュアップ等
- (ウ) 共有する手段として例会で「今月の写真」を紹介するのも有り
- (エ) 目標があるとよい（海外の技術者が興味をもつような写真・技術。技術士が作った日本マップを作る）

⇒実施の方向で企画を練る（小林&加藤）

## 2. 技術士×青技交×バーベキュー

- (ア) バーベキューの課題（煙たい、生焼け等）を専門分野の技術を活かして解決しながら、技術士ならではのバーベキューを行う
- (イ) 語りパートを設け、共通課題（SDGs など二次試験問題に出そうなもの）についてトークする
- (ウ) 最近は災害も多いため「災害×サバイバル」要素で試みるのもあり（火おこしなど）

⇒保留。イベント解禁後再検討

## ② WEB チームの案

### 【目的】

- ① 若い人（20～30代、修習、一次を目指す方）が参加できる雰囲気づくりを行う
- ② 他団体のリソースを活用（交流、コラボ）

## 1. 技術士を目指す人への指導

- (ア) 水炊き塾とのコラボ（青年としての活動とは別に）
- (イ) 技術士を目指す人は指導を受ける場が欲しいはず

⇒技術士(会)がどこまで相談(指導)してよいか、確認。

## 2. プログラミング教室（全分野の技術士の共通技術）

- (ア) 近藤さん、長原さんのイベント（さとうみ等）に参加（協力）させていただく
- (イ) スタッフになるための勉強を行うことで、講師としてのアウトプットまでできる
- (ウ) Hackathon のように集まって問題を競う手法もあり。ただし皆が勉強できるような「テーマの設定」を行う必要がある
- (エ) 機械部会 田上さんにプログラミング・機材のアドバイスを頂くこともできそう
- (オ) プログラムだけでなく、動くハードがある方が楽しい
- (カ) 「何をプログラムするか」を考える必要あり
- (キ) 身の回りの仕組み（自販機でジュースが買える仕組みなど）を考える手法が基礎部分となる

⇒例会で「プログラミングの基礎」を勉強する機会を設ける

#### 4. 例会のプロジェクト制について

(ア)ねらい

「創り上げる」過程を経験することで、個々の技量 UP につなげる

(イ)例会担当決め

① 直近の企画担当は下記の通りとする

5月：新淵

6月：野田（災害復興）

7月：小林（チームビルディング）

8月：宮里（建設）

9月：加藤

10月：（プログラミング等）

② 例会開催に必要な準備事項（事務手続き等）と分担は別途調整する